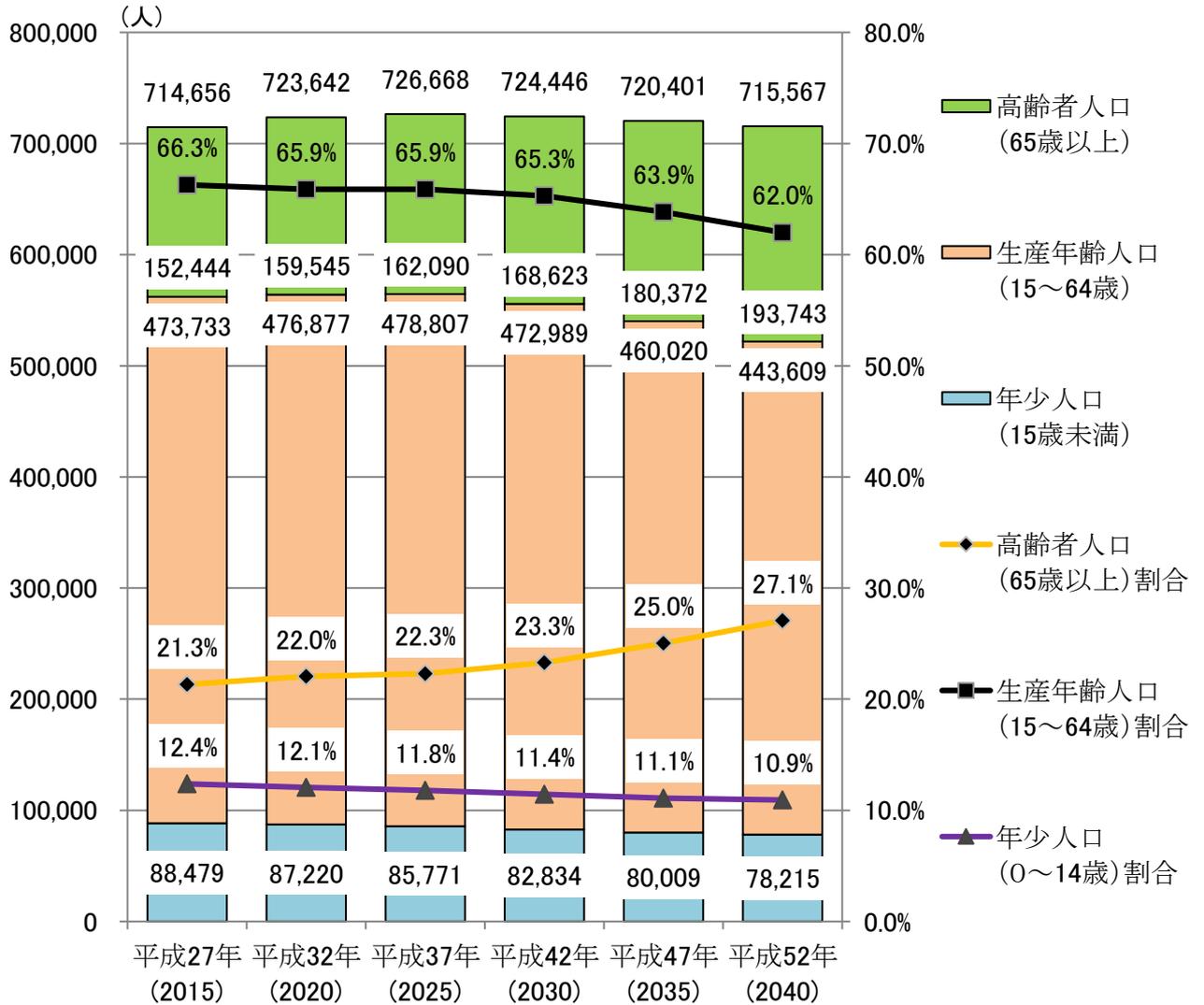


2 将 来 推 計 人 口

- ・ 練馬区人口ビジョンにおける将来推計人口では、総人口は平成 30 年代後半まで増加し、以降減少に転じます。
- ・ 年齢階層別では、年少人口は一貫して減少し、生産年齢人口は平成 30 年代後半をピークに以降減少します。高齢者人口は一貫して増加します。

図表 2：練馬区の将来推計人口

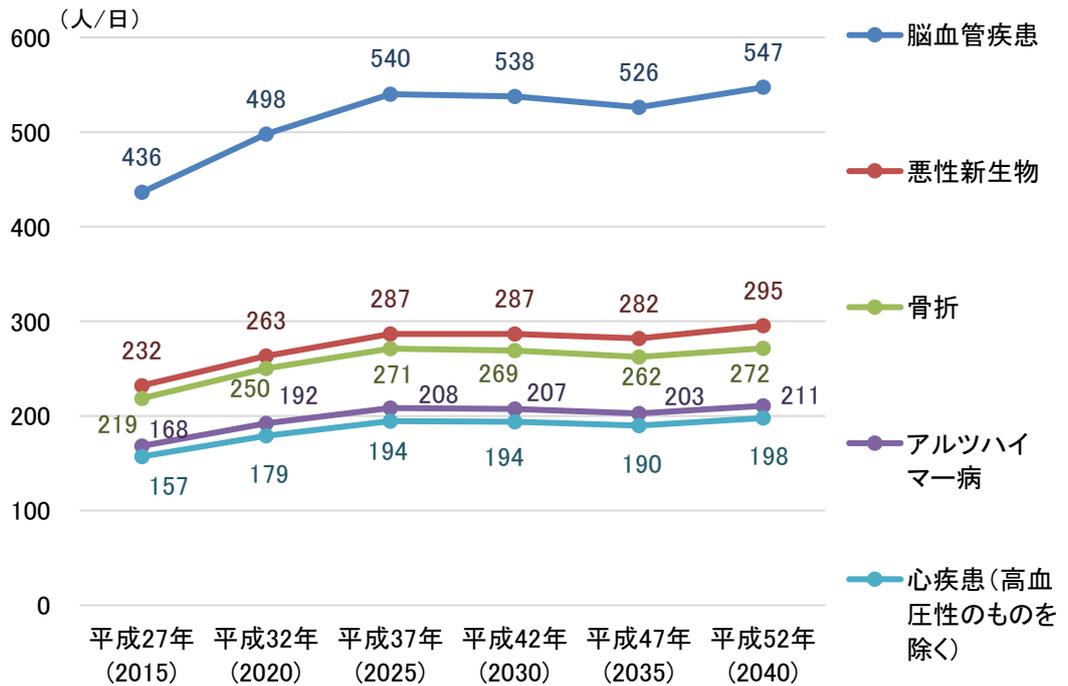


※平成 27 年は住民基本台帳人口の実績。以降は推計。  
 出典：練馬区人口ビジョン（平成 27 年（2015 年）12 月）

① - 3 75歳以上（後期高齢者）

- 75歳以上（後期高齢者）の入院患者数の多い上位5疾患は、「脳血管疾患」「悪性新生物」「骨折」「アルツハイマー病」「心疾患（高血圧性のものを除く）」です。前期高齢者では3位であった脳血管疾患が1位になっています。また、アルツハイマー病が4位となっています。

図表 9：75歳以上の入院患者数の推計（患者所在地ベース）ICD10 中分類



出典：厚生労働省「平成26年（2014年）患者調査」、練馬区人口ビジョン（平成27年（2015年）12月）を参考に練馬区推計

※図表7 65歳以上の入院患者数と、図表8 65～74歳の入院患者数と図表9 75歳以上の入院患者数の合計は、小数点以下の処理の関係で数値が合致しない場合がある。

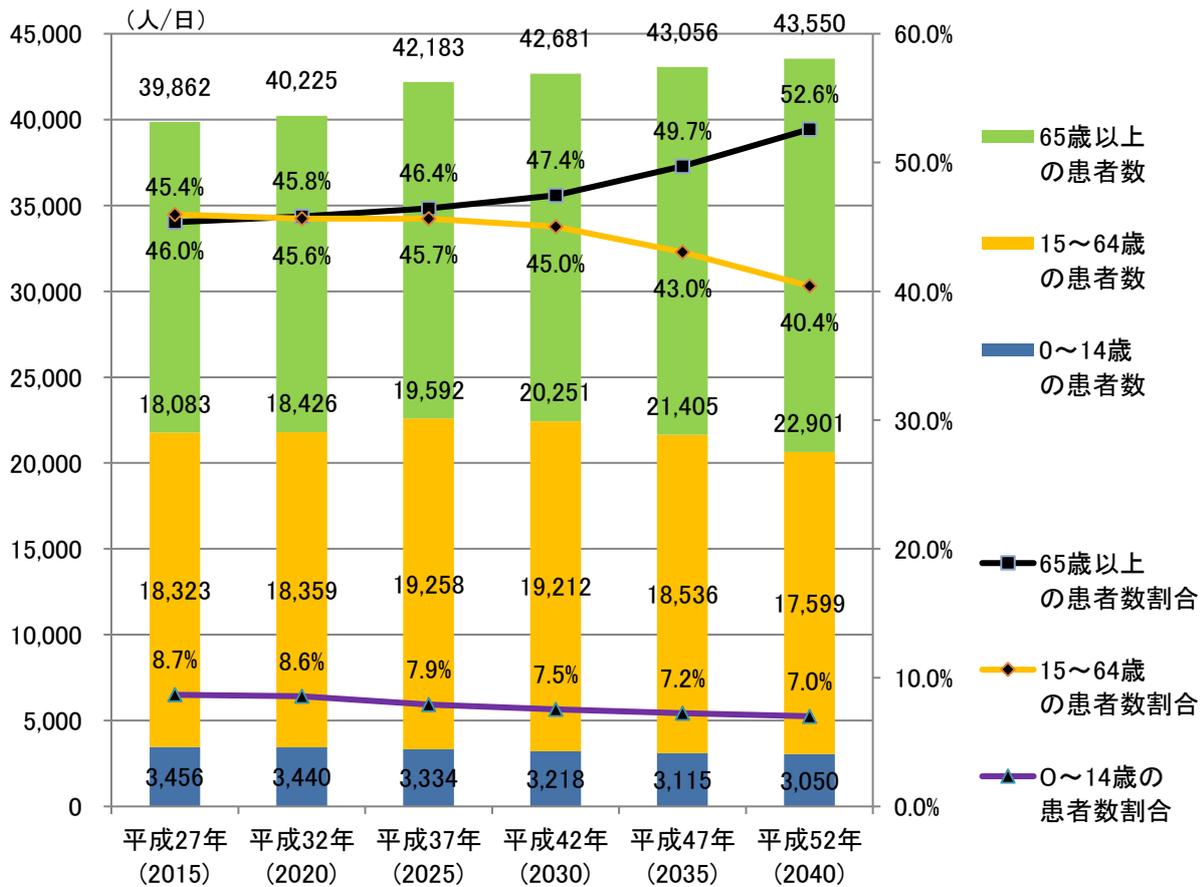
<sup>1</sup> アルツハイマー病…認知機能の低下や人格の変化が主な症状である認知症の一種。ほとんどのアルツハイマー病の患者は、60歳以降に初めて症状が現れる。

### (3) 年齢階層別外来患者数の推計

#### ア 全体

・年齢階層別にみると、平成27年では15～64歳の患者数が最も多くなっていますが、高齢化の進展に伴い高齢者の患者数が増加するため、平成30年代前半には高齢者の患者数が多くなると見込まれます。0～14歳の患者数は一貫して減少する見込みです。

図表 12：年齢階層別外来患者数の推計（患者所在地ベース）

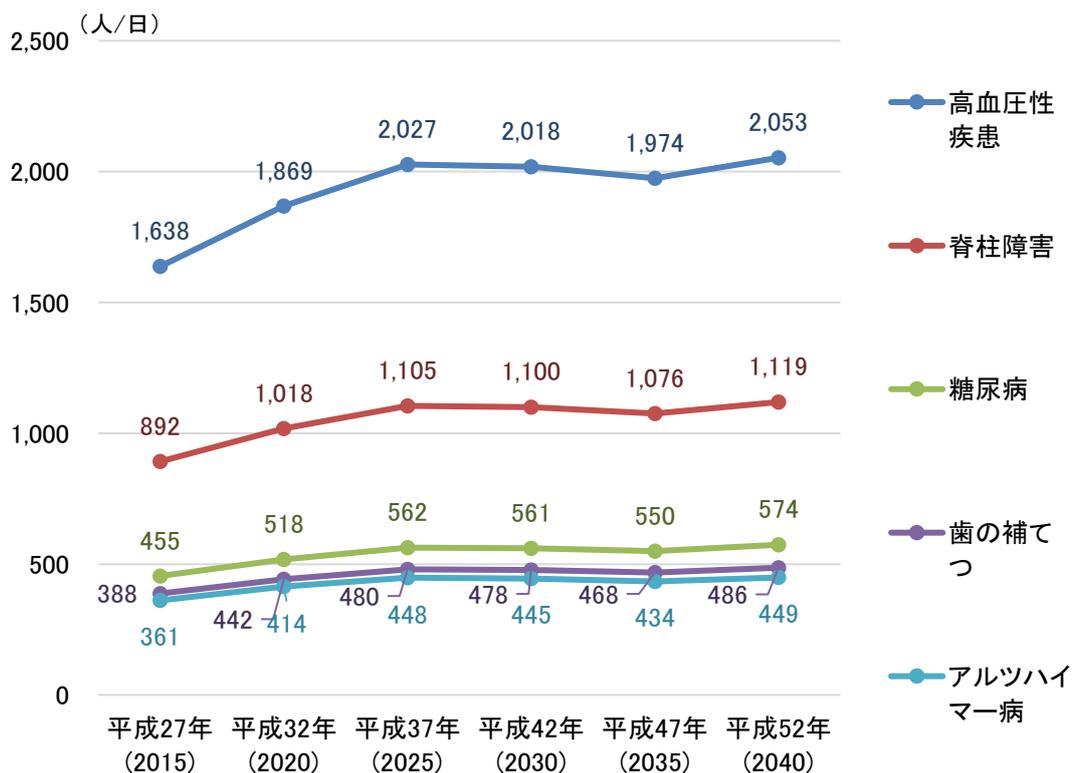


出典：厚生労働省「平成26年（2014年）患者調査」、練馬区人口ビジョン（平成27年（2015年）12月）を参考に練馬区推計

### ① - 3 75歳以上（後期高齢者）

- 75歳以上（後期高齢者）の外来患者数の多い上位5疾患は、「高血圧性疾患」「脊柱障害」「糖尿病」「歯の補てつ」「アルツハイマー病」です。前期高齢者より患者数が多く、増加傾向が続きます。また、入院患者の場合と同様、前期高齢者にはなかったアルツハイマー病が入っています。

図表 15：75歳以上の外来患者数の推計（患者住所地ベース）：ICD10 中分類



出典：厚生労働省「平成26年（2014年）患者調査」、練馬区人口ビジョン（平成27年（2015年）12月）を参考に練馬区推計

※図表13 65歳以上の外来患者数と、図表14 65～74歳の外来患者数と図表15 75歳以上の外来患者数の合計は、小数点以下の処理の関係で数値が合致しない場合がある。

## V 在宅医療

### 1 在宅医療の患者数

#### (1) 訪問診療対象患者数の推計

- ・ 区の訪問診療対象患者数は、平成 52 年（2040 年）には、平成 27 年（2015 年）に比べて 1 千人程度増加すると推計されます。そのほとんどが 75 歳以上の患者です。

図表 37：練馬区の訪問診療対象患者数の推計（患者住所地ベース）



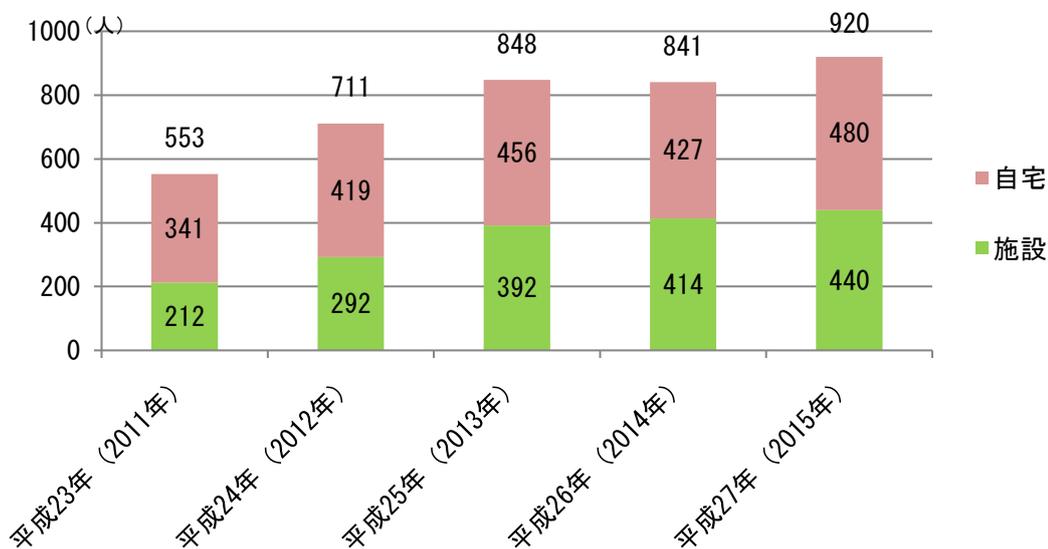
※区の0～14歳の訪問診療対象患者は0人/日

出典：厚生労働省「医療計画作成支援データブック「医療圏内患者の受療圏の把握及び地域医療指標の評価」ツール」、練馬区人口ビジョン（平成27年（2015年）12月）より練馬区推計

## (2) 看取り件数の推移

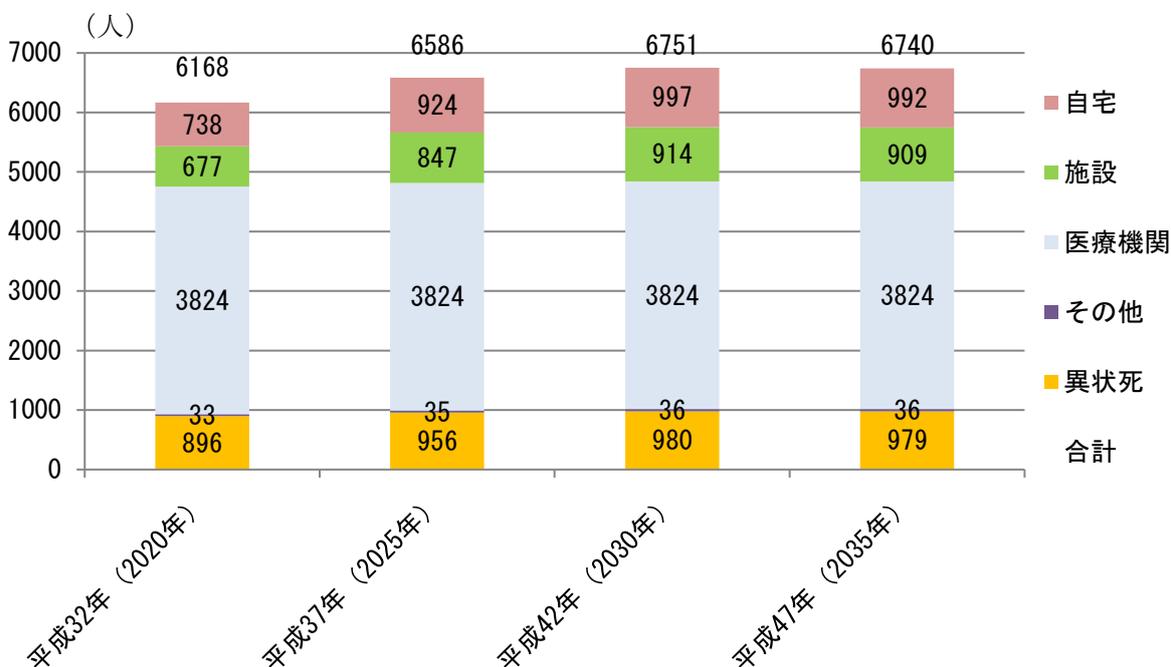
・ 在宅での看取り件数は、増加傾向にあり、自宅・施設ともに増加しています。

図表 38：在宅での看取り件数の推移



出典：練馬区「死亡小票データ (2011年1月1日～2015年12月31年の5カ年分)」

図表 39：看取り件数の推計



出典：練馬区「死亡小票データ (2011年1月1日～2015年12月31年の5カ年分)」、練馬区人口ビジョン (平成27年 (2015年) 12月) および国立社会保障・人口問題研究所の将来の生存率を参考に練馬区推計

## 2 在宅医療関係施設

在宅医療関係施設の人口 10 万人あたりの施設数を比べると、

- ・在宅療養支援診療所<sup>2</sup>は、東京都・医療圏と比べて、区は若干少ない状況です。
- ・在宅療養支援病院<sup>3</sup>は、東京都・医療圏と比べて、区は半数程度となっています。
- ・在宅療養後方支援病院<sup>4</sup>は、東京都・医療圏と比べて、区は半数程度となっています。
- ・在宅療養支援歯科診療所<sup>5</sup>は、東京都と比べて若干少ないですが、医療圏と比べると多い状況です。
- ・在宅患者訪問薬剤管理指導料<sup>6</sup>算定薬局は、東京都・医療圏と比べて、区の方が若干少ない状況です。

図表 41：在宅医療関係施設の人口 10 万人あたり施設数

(単位：箇所)

	東京都	医療圏	練馬区	実数・病院名
在宅療養支援診療所	51.9	60.7	49.0	76 施設
在宅療養支援病院	3.2	4.2	1.9	3病院 スズキ病院 田中脳神経外科病院 大泉生協病院
在宅療養後方支援病院	1.0	0.9	0.6	1病院 練馬総合病院
在宅療養支援歯科診療所	19.6	17.4	19.3	30 施設
在宅患者訪問薬剤管理指導料算定薬局	168.1	165.7	158.7	246 施設

出典：関東厚生局「平成 28 年（2016 年）6 月 1 日現在の届出」、平成 28 年（2016 年）住民基本台帳高齢者人口

<sup>2</sup> 在宅療養支援診療所…在宅療養を希望する患者に、その地域で主たる責任をもって定期的に訪問診療を行う診療所。地方厚生(支)局長に届出をして認可される診療所の施設基準のひとつ。

<sup>3</sup> 在宅療養支援病院…在宅療養を希望する患者に、その地域で主たる責任をもって定期的に訪問診療を行う病院。地方厚生(支)局長に届出をして認可される病院の施設基準のひとつ。

<sup>4</sup> 在宅療養後方支援病院…在宅医療を提供する医療機関（在宅療養支援病院や在宅療養支援診療所）の求めに応じて、入院を希望する患者の診療が 24 時間可能な体制を確保している一定の施設基準を満たした施設。

<sup>5</sup> 在宅療養支援歯科診療所…在宅療養を希望する患者に、その地域で主たる責任をもって定期的に訪問診療を行う歯科診療所。地方厚生(支)局長に届出をして認可される歯科診療所の施設基準のひとつ。

<sup>6</sup> 在宅患者訪問薬剤管理指導料…在宅での療養を行っている患者に対して、必要な薬学的管理指導を行った場合に算定する診療報酬。

### 3 介護関係施設数の状況

・ 介護施設・介護サービス提供事業所の高齢者人口 10 万人あたりの数を比べると、東京都・医療圏よりも区の方が少ない施設は、介護療養型医療施設、通所介護（デイサービス）、療養通所介護、通所リハビリテーション（デイケア）、認知症対応型通所介護、介護老人福祉施設（地域密着型）であるが、極端に施設数が少ないサービスはなく、東京都・医療圏と比べて比較的介護関係施設は充足しています。

図表 42：高齢者人口 10 万人あたり介護関係施設数

（単位：箇所）

サービスの種類	サービスの内容	東京都	練馬区
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	常に介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象の施設です。食事・入浴など日常生活の介護や健康管理が受けられます。	16.2	17.4
介護老人保健施設	病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。医学的な管理のもとで介護や看護、リハビリが受けられます。	6.4	8.4
介護療養型医療施設	急性期の治療が終わり、病状は安定しているものの、長期間にわたり療養が必要な方が対象の施設です。介護体制の整った医療施設（病院）で、医療や看護が受けられます。	1.8	1.3
居宅介護支援	ケアマネージャーにケアプランを作成してもらうほか、安心して介護サービスを利用できるよう支援してもらいます。	112.8	133.5
訪問介護	ホームヘルパーに自宅を訪問してもらい、身体介護や生活援助を受けます。	98.8	117.4
訪問入浴介護	自宅に浴槽を持ち込んでもらい、入浴の介助を受けます。	5.4	6.4
訪問看護	看護師に訪問してもらい、床ずれの手当てや点滴の管理をしてもらいます。	31.9	31.6
訪問リハビリテーション	リハビリの専門家に訪問してもらい、自宅でリハビリを受けます。	7.1	7.1
通所介護 （デイサービス）	定員 19 名以上のデイサービスセンターで食事・入浴などの介護や機能訓練が日帰りを受けられます。	55.4	51.6
療養通所介護	常に看護師による観察を必要とする方を対象にしたサービスで、デイサービスセンターで、食事・入浴などの介護や機能訓練が日帰りを受けられます。	0.1	0.0
通所リハビリテーション （デイケア）	介護老人保健施設や病院・診療所で日帰りの機能訓練が受けられます。	10.7	10.3
短期入所生活介護 （ショートステイ）	介護老人福祉施設などに短期間入所して、食事・入浴などの介護や機能訓練が受けられます。	18.3	20.6
特定施設入居者生活 介護	有料老人ホームなどに入所している方が受けるサービスです。看護、医学的な管理の必要となる介護や機能訓練などが受けられます。	21.4	34.8
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	介護職員と看護師等の密接な連携による定期的な訪問を受けられます。また、通報や電話などですること、随時対応も受けられます。	2.8	3.9

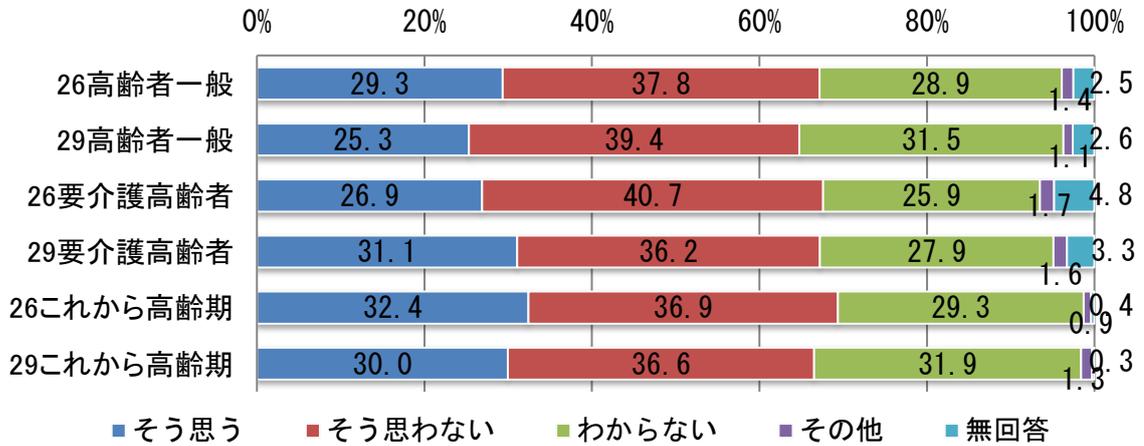
サービスの種類	サービスの内容	東京都	練馬区
夜間対応型訪問介護	夜間に定期的な巡回で介護を受けられる訪問介護、緊急時など、利用者の求めに応じて介護を受けられる随時対応の訪問介護などがあります。	1.2	1.3
地域密着型通所介護	定員 19 名未満の小規模なデイサービスセンターで、食事・入浴などの介護や機能訓練が日帰りで受けられます。	55.2	78.0
認知症対応型通所介護	認知症と診断された方が食事・入浴などの介護や支援、機能訓練を日帰りで受けられます。	14.0	11.0
小規模多機能型居宅介護	小規模な住居型の施設への「通い」や、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊る」サービスが受けられます。	6.2	9.7
認知症対応型共同生活介護	認知症と診断された方が少人数で共同生活をしながら、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練を受けられます。利用者は共同生活のなかで、できる限り今まで暮らしてきた生活を続けることを目指します。	19.2	20.6
介護老人福祉施設(地域密着型)	定員 30 人未満の介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)です。	0.9	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	利用者の状況に応じて、小規模な住居型の施設への「通い」、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊る」サービスに加え、看護職員に自宅に来てもらう「訪問看護」を組み合わせたサービスが受けられます。	0.6	0.6

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム（平成 28 年（2016 年）6 月時点）」、練馬区データ（平成 28 年（2016 年）9 月）、住民基本台帳人口平成 28 年（2016 年）1 月 1 日現在

図表 45：在宅療養の希望等

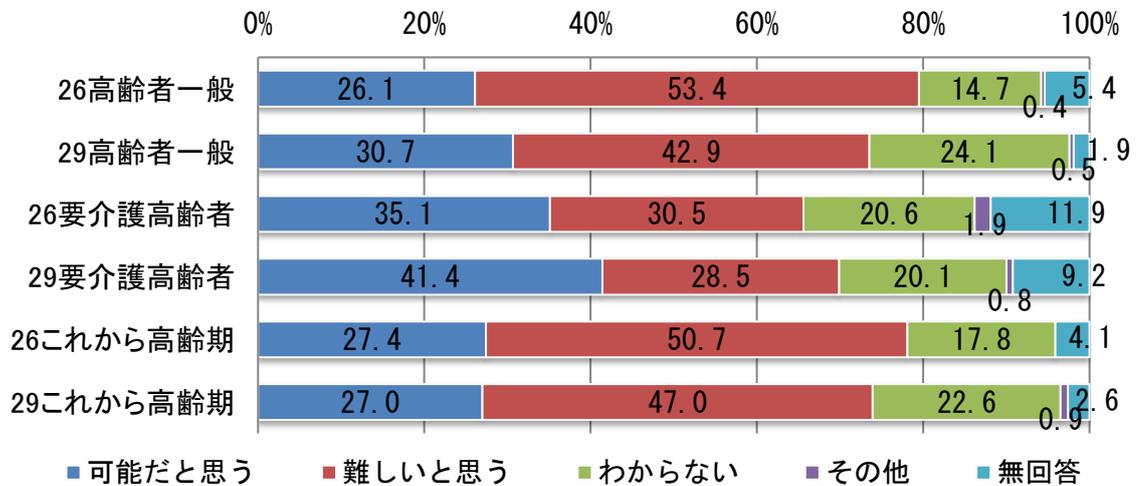
・在宅療養の希望

前回調査に比べ在宅療養を希望する要介護高齢者が 4.2 ポイント増加している。



・在宅療養の実現可能性

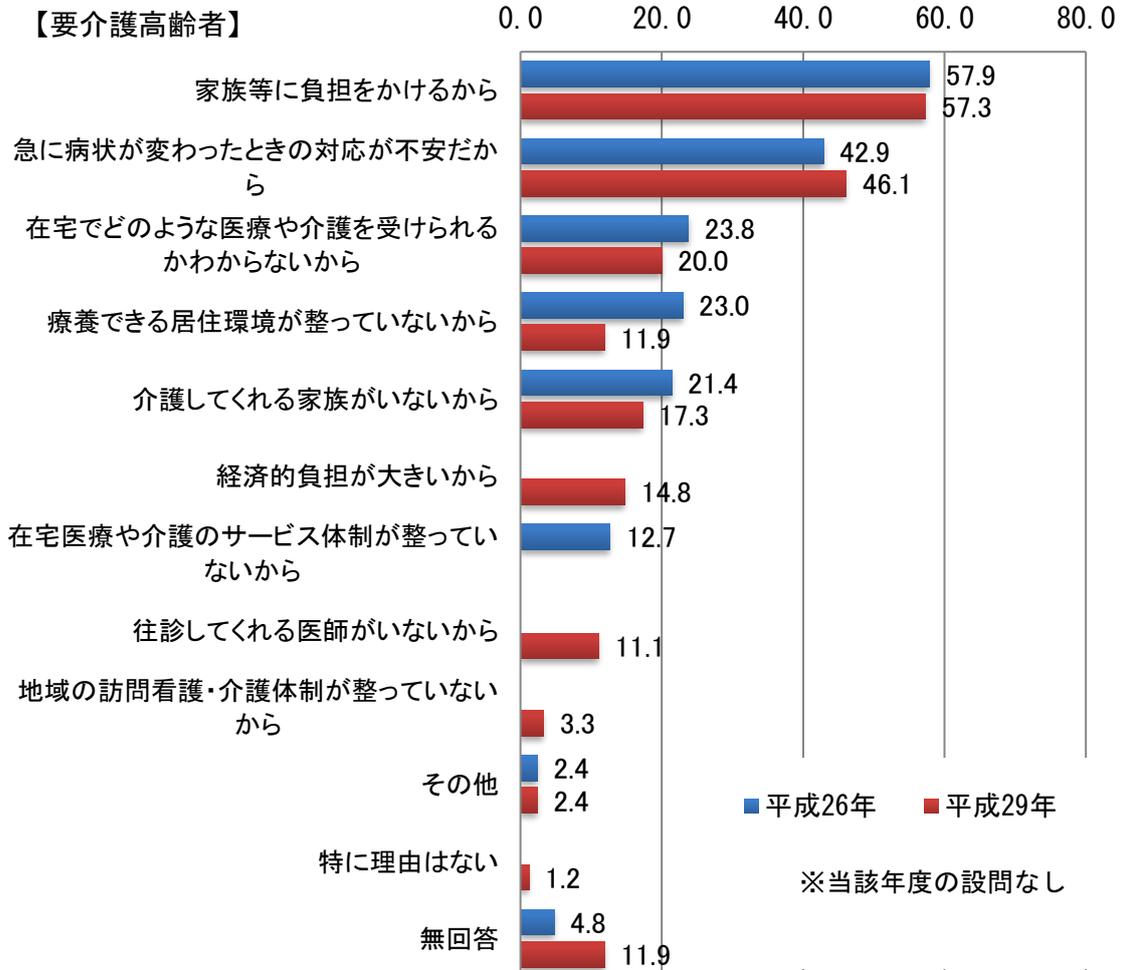
在宅療養を希望すると回答した人の実現可能性については高齢者一般で 4.6 ポイント、要介護高齢者で 6.3 ポイント増加している。



出典：練馬区「高齢者基礎調査報告書（速報）（平成 29 年 3 月）」

・在宅療養が難しいと思う理由（複数回答）

在宅療養を希望しない理由として、「家族への負担」が最も多く、次いで「急変時の対応への不安」であった。また、今回調査で新設した「経済的負担感」、「訪問診療医がない」が1割を超えていた。



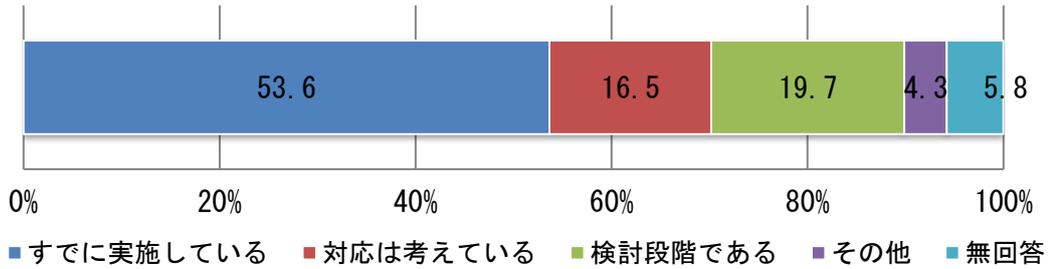
出典：練馬区「高齢者基礎調査報告書（速報）（平成29年3月）」

図表 46：介護サービス事業者調査

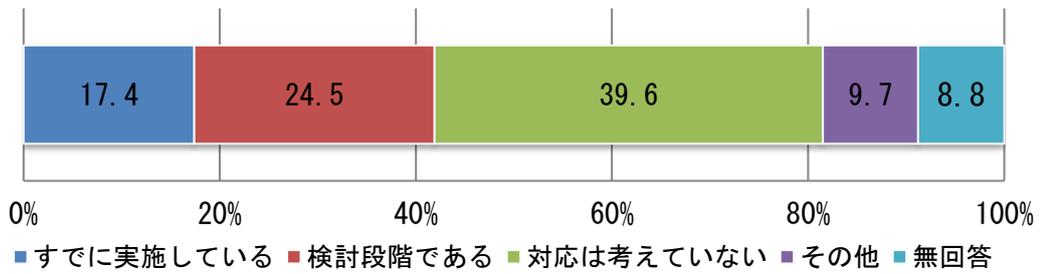
・ターミナルケアへの対応等

ターミナルのケアへの対応は 53.6%がすでに実施している。たん吸引等は 39.6%の事業者が対応は考えていないと回答している。

・ターミナルケアへの対応



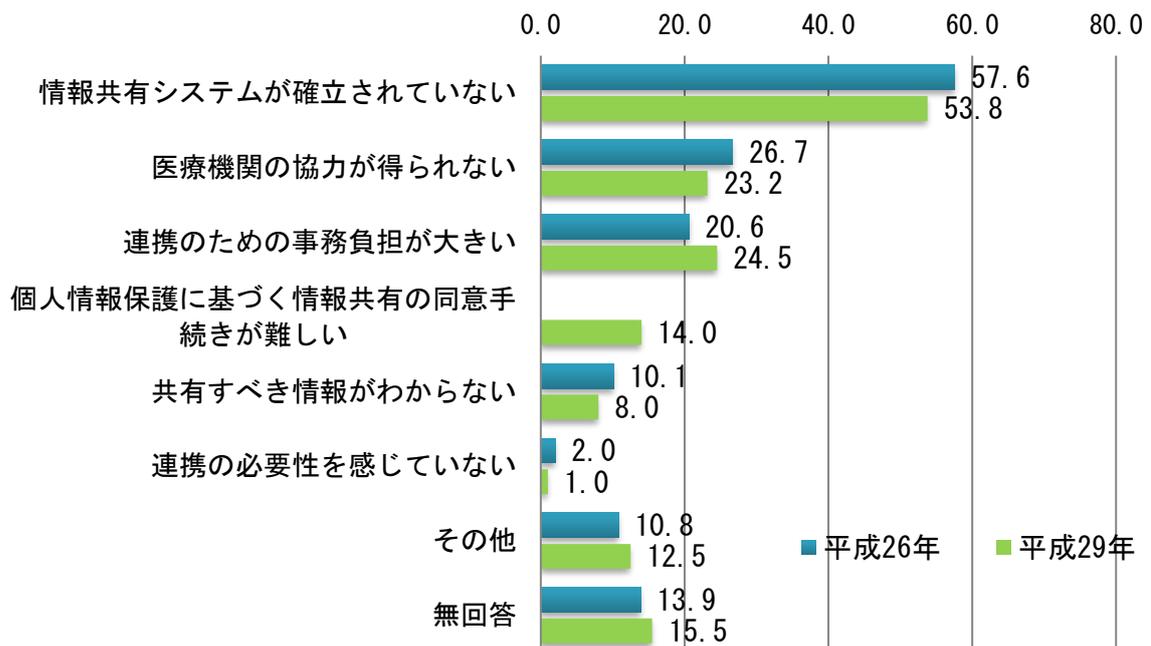
・介護職員によるたんの吸引等医療的ケアへの対応



・医療機関との連携

医療機関と連携を進める上での課題（複数回答）

半数の事業者が情報共有システムの確立が必要と答えているが、2割以上の事業者が連携のための事務に負担を感じている。



出典：練馬区「高齢者基礎調査報告書（速報）（平成 29 年 3 月）」